

- 1 日時 令和2年(2020年) 1月17日(金) 午後2時～2時50分
2 場所 春日交流センター 2階大会議室
3 出席者 都市計画部 部長、次長
保健福祉部 部長、次長
公有地利活用推進課 課長、課長補佐、係員1名
障害福祉課 課長、課長補佐

4 参加者 5名

5 内容

(1) 説明内容

春日消防本部跡地利活用について、筑波大学と連携して児童発達支援センターの設置検討を進めていく内容を別紙に基づき説明。

(2) 質疑・意見交換

(●：参加者、○：都市計画部、□：保健福祉部)

●児童発達支援センターへの反対、賛成といったことではなく、この跡地は中心地に近く、利用するにあたって価値のあるものなので、ほかにどのような利用方法が検討され、最終的にこの児童発達支援センターを整備することになったのか。

→○公有地利活用の基本的な考え方としては、公的利用、地域利用、民間利用の順番で検討をしている。当該地での庁内ニーズ調査の結果は、児童発達支援センターと防災備蓄倉庫としてのニーズがあった。防災備蓄倉庫は、当該地である必要はないとのことであった。その後、児童発達支援センターについては、「つくば市における児童発達支援センターの在り方に関する検討会」が設置され、計5回開催し、提言書がまとめられた。市としても、児童発達支援センターは必要であり、春日消防本部跡地において、筑波大学と連携して検討を進めていくこととなった。

→●大きな面積の土地なので、児童発達支援センターのみでの規模が適切なものであるのか。

→○児童発達支援センターとは別に、筑波大学のPFI事業で、宿泊施設、民間保健施設、フィットネス施設などを検討していると聞いている。市の土地を筑波大学に貸し、PFI事業で筑波大学が建物を建設し、市が建物の一部を借りる予定である。

- 筑波大学で様々なPFI事業を実施しているが、事業者選定には数年程度かかる。これから検討していくと思うが、何年先の設置となるのか。
→○期間的には数年かかるものとなる。具体的な中身などは今後検討していく。

- 跡地に何かしらの施設を造ると、たくさんの方が訪問されるため、周辺環境の影響を懸念している。筑波大学病院までの道路、直前の交差点などの渋滞が現状ひどいため、そこを解決しないままに交通量が増えると、それが悪化して中から出られなくなるのを懸念している。関連して、春日プラザに庁舎の一部が入っていた時に、そこを訪問される一般市民の方々の車が春日1丁目の中の方にたくさん入ってきたが、危ない運転をされている方もおり、危ない思いをした。跡地利用の際に、春日プラザの駐車場を共用利用することがあると危険な可能性がある。このあたりの考えや対策についてお聞きしたい。
→○筑波大学と打ち合わせを重ねていくなかで、協議・検討していきたいと思う。春日プラザの駐車場を共用することは、現時点において、そのような話はでていない。

- PFI事業について2点質問がある。民間の企業の場合、公共事業に関わる際は抽選での選定となるが、今回の事業者選定については、筑波大学が決定するものなのか。基準など何かあるのか。
→○公募のための実施方針公表を筑波大学は考えており、実施方針を示して一般企業から募集を行う予定であると聞いている。選定する際の具体的な内容は把握できていない。
→●筑波大学から特定の企業に参加してほしいといった要望はあるのか。
→○筑波大学は、この事業に参加するような民間事業者がいるかどうか、複数社にヒアリングをしているが、特定業者への参加要望はないと思う。

- 「つくば市における児童発達支援センターの在り方に関する検討会」での3つの設置場所について、それぞれの場所への賛成票数はどの程度なのか。
→□票数ではなく、場所に対する意見が出てきた中で、我々として意見を整理して、今回の順番の認識で良いか検討会で合意を得たものとなる。おおげさに言えば、ほとんどの委員がこの順番で思っているかもしれない。具体的に個々人の意見というよりかは、それまでの議論を踏まえた上での賛成順となる。

- 子供がいて、検診などで桜保健センターに行くが、子育て支援センター、保健センターがあり、こちらに児童発達支援センターがあると、小さいうちからの支援といった観点で親子として通いやすいと考えている。継続的な通いやすさでいうと、一意見となるが桜庁舎跡地にもメリットがあると思う。春日消防本部跡地では、筑波大学附属病院、筑波メディカルセンター病院などの緊急車両が多く通るため、支援が必要な子供に落ち着いて療育が出来るのかといった懸念があると考ええる。
 - 桜庁舎跡地は、委員の中でも同様の意見が出た。ただ、市の中心部での利便性が高いといった意見がより多かったものとなる。どちらが良いのかは難しい問題もあるが、大学病院と道を隔てて一本であること、大学病院のPHSも入る可能性もあり、優遇性の高さや連携の深さもあるので、今回は有識者や障害者団体も含めてこのような結論となった。

- 筑波大学が当該地をPFI事業で利用する方針はほぼ固まっているのか。PFI事業に時間がかかるため、児童発達支援センター整備が何らかの形で別の場所で行われるようになった場合はどうなるのか。
 - 児童発達支援センター整備を春日消防本部跡地で実施することに対して、筑波大学もセットでPFI事業を実施するものとなる。児童発達支援センターの話がなくなれば、筑波大学と組むメリットもなくなるので再度検討することになる。

- 児童発達支援センター以外の公的な施設として、ほかに案はなかった。
 - 庁内ニーズ調査では児童発達支援センターと防災備蓄倉庫以外の案は出なかった。

- 要望となるが、つくば市の支出がないように、地代と市が部屋を借りる賃料で相殺するなど市にとってプラスになるように妥協なく支出がないようにしてほしい。
 - おっしゃる通りであり、具体的に試算はしていないが、地代と賃料の差し引きでプラスになると思う。

- PFI事業については、選定基準、評価基準、議事録などは筑波大学のホームページに資料があるので御参照いただければと思う。

- 交通に関して、児童発達支援センターへは車での来場が想定されると思う。それなりに広い面積の土地ではあるが、駐車場の数、建物の規模、訪問者数の見込みなどの想定はあるのか。
→○今後、具体的に検討していくこととなり、現時点で想定規模はない。
→●勤務する方含めて様々な来訪者も居ると思うので、交通量の見通しを立てて、対策を立ててほしい。

- 消防署があったため、東西道路の幅員を広くとっていたこともあるかもしれないので、道路に改善の余地があれば、筑波大学専用の左折レーンを造るなどができるかもしれないので、道路整備については、再考した方が良いと考えている。

- 大学病院前の通りや前後の交差点で車が詰まって動かないため、迂回して春日のブロックに入り混み、病院に向かう車がいるのも交通が乱れる原因となる。病院には時間制限などで左折以外入れないようにするなど、交通規制による対策も検討してほしい。